

越田謙治郎市長が施政方針を表明

市民と築く川西モデル

第1回市議会（定例会）で、越田市長が31年度の施政方針を表明
市政の目的や理念などについて話しました
ここでは、3つの重点プロジェクトや民間連携、財政健全化などを紹介します



かわにし 新時代へ

新たなまちづくり手法を構築

川西市は利便性の良さと豊かな自然環境を生かし、住宅都市として発展してきました。この魅力は約50年前に市民とつくり上げた「川西方式」から生まれたものです。

民間資本を活用した市の財政負担を最小限に抑えたまちづくりの手法は、全国に普及しました。先人たちの知恵と工夫、そして努力のたまものであり、市の大きな財産です。しかし、長い年月が経過し、空き家の増加や商店街の衰退など、オールドニュータウンの課題を抱え、時代の転換点を迎えています。

50年前は道路整備や学校建設など、インフラ整備を進めて、まちの発展につなげました。その歴史を踏まえながらも、既存のルールに捉われずに、新たな川西モデルを構築したいと考えています。

主要な3つのプロジェクト

新たな川西モデルを構築するため、3つのプロジェクトに取り組みます。
「子ども未来プロジェクト」は、子どもと親が笑顔で生活

できる社会をめざします。また、子どもたちが人生で最高のスタートを切れるように、学びや自主性を育てる環境を整えていきます。

「まちの魅力向上プロジェクト」は、働く人も遊びに来る人もみんながわくわくできるまちづくりを推進します。「いきいき健康プロジェクト」は、年齢を重ねても、障がいがあっても、住み慣れた地域で安心して自分らしく生きられる。そんなまちの実現に取り組みます。

「川西を変える」という改革の思いを胸に、先端技術などを活用しながら新たな魅力をプラスし、持続可能なまちづくりを進めます。

民間連携と技術活用を強化

今後の人口減少を見据えると、行政が全てを担うのではなく、知識や経験を持つ民間事業者と協力し、ICT（情報通信技術）などを社会生活に取り込む必要があります。また、まちの持続的な発展や地域課題の解決のために、自治体間で資源と機能を相互に活用し、連携していくことが重要です。

今後、このような連携を基にした行政運営に転換することで、多様化する市民ニーズに的確に対応できると考えています。

財政健全化に集中

31年度を「かわにし新時代」の礎を築く年として、全事業の再検証と財政健全化条例の制定を行い、3年間で集中して財政健全化を行います。また、政策目的を明確にし、効果が上がる手段を選択する。「証拠に基づく政策立案」を推進します。将来にわたり、効率的・効果的な行政サービスを提供するために、改革を進めていきます。

施政方針と予算案の詳細

施政方針全文は市役所2階の市政情報コーナーや各公民館などで閲覧できる他、市ホームページでも公開。なお、第1回市議会（定例会）では、31年度の予算案などが審議されています。詳細は右記2次元コードから市ホームページへ。



31年度 予算案

問い合わせ
財政課
☎(740)1130

行政サービスの基本的な経費と収入を計上した一般会計の予算規模は、571億4,300万円です。市の後期基本計画と地方創生総合戦略、行財政改革の着実な実行を基本方針とし、全事業の再検証や子育て・教育の充実、病院事業の指定管理関連の予算を計上しています。

特別会計では、中央北地区土地区画整理事業で都市基盤整備が完了し、同地区の土地の権利関係を確定する換地処分などのための予算を計上しています。

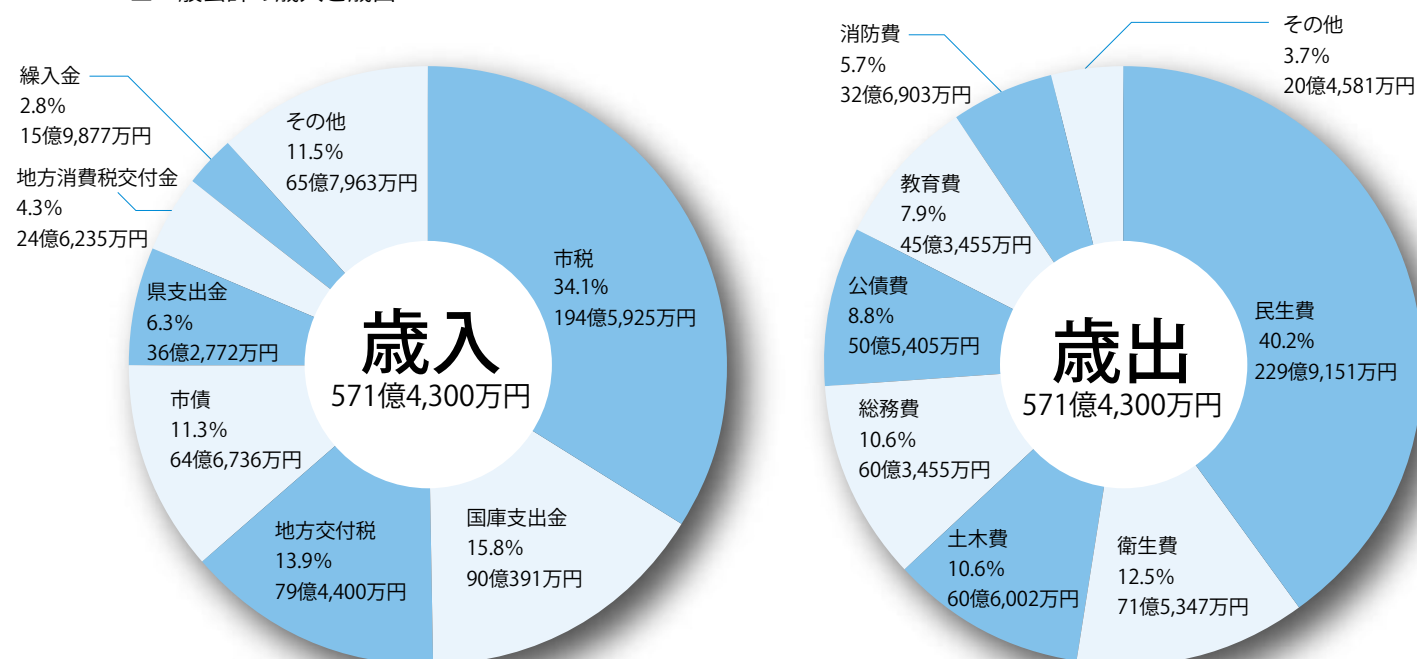
市税収入などの使途に制限のない一般財源は、前年度と同程度になる見込みです。また、インフラや施設整備の減少で、その財源となる市債収入は減少。民生費支出（医療・介護や障がい者支援、生活保護、児童手当、保育所運営など）が増加したため、国庫支出金収入が増えています。土木費支出では花屋敷団地の建て替え、消防費支出では消防本部などの整備で増加しています。

□会計別予算案

会計名	31年度当初予算	30年度当初予算	
一般会計	571億4,300万円	569億4,100万円	
特別会計	国民健康保険	160億2,095万円	163億704万円
	後期高齢者医療	33億1,513万円	31億349万円
	農業共済	1,334万円	1,298万円
	介護保険	132億2,855万円	123億9,476万円
	用地先行取得	32億2,131万円	28億1,572万円
	中央北地区土地区画整理	10億297万円	17億8,381万円
	小計	368億225万円	364億1,779万円
一般・特別会計の合計	939億4,525万円	933億5,879万円	
企業会計	水道	44億539万円	44億8,858万円
	下水道	57億9,396万円	57億4,925万円
	病院	32億857万円	58億2,784万円
	小計	134億792万円	160億6,567万円
合計	1,073億5,317万円	1,094億2,446万円	

※表やグラフの数値は、端数の関係で合計が一致しない場合があります

□一般会計の歳入と歳出



まちの魅力向上プロジェクト

働く人も、遊びに来る人も わくわくできるまちづくり

空き家対策の推進 900万円
高度成長期の大規模住宅団地が老朽化した、オールドニュータウンの地域課題を解決するため、空き家の総合相談窓口や関係機関との連携事業を継続します。子育て世帯などを対象とした、既存の空き家リフォーム助成制度を拡充。また、地域交流拠点や子育て世帯向け賃貸住宅への活用を対象とする助成制度を新設します。

空き家の流通と土地の利活用促進に向けて、空き家の取り壊しや廃棄に必要な費用の一部を助成します。

オンデマンドモビリティの試験的導入 200万円
団地内の公共交通のあり方を検討するため、人の移動の利便性を高めるオンデマンドモビリティサービスを試験的に提供。新しい川西モデルの構築に向けて取り組みを進めます。

産業ビジョンの策定 581万円
市内の産業を活性化させ、新たな雇用の創出や起業の支援、コワーキングスペースの整備などを進めるため、「産



業ビジョン」を策定します。黒川のまちづくり支援 1401万円
黒川地区で、観光資源との一体的なまちづくりを可能とする特別指定区域制度と、地区内の資源を活用したまちづくり支援の検討を進めます。

いきいき健康プロジェクト

年齢を重ねても、障がいがあっても いきいき暮らせるまちづくり

人間ドックでの胃カメラ検査の導入 380万円
保健センターで実施している人間ドックに、胃カメラ検査を導入することにより、検査機能の充実を図ります。

胃がん検診の市内医療機関での実施 390万円
保健センターに加え、市内の医療機関で胃がん検診を受診できるようにし、受診率の向上と胃がんの早期発見に努めます。

中程度の障がい者への通院医療費の助成 364万円
障がいのある人が安心して医療を受けられるよう、中程度の障がい者に、通院医療費の一部を助成します。

風しんの抗体検査・予防接種の実施 1550万円
風しんの感染拡大防止のため、抗体保有率が低い世代の男性を対象に、33年度末までの3年間、抗体検査と予防接種を実施します。

健康マイレージの推進 6611万円
歩くことを基本とした運動のきっかけづくりと習慣化を進めるため、健康マイレージ事業と地域ぐるみの健康づくりを連携します。

川西モデル構築のための

主な取り組み

問い合わせ
政策調整課
☎(740)1120
財政課
☎(740)1130

かわにし新時代に向けて新たな魅力をプラスし、持続可能なまちづくりを進めるために必要な31年度の主な取り組みを紹介します

こども未来プロジェクト

子どもも親も 笑顔で生活できるまちづくり

中学校給食の実施に向けた準備 5900万円
川西南中学校第2グラウンドの一部を活用した、センター方式による中学校給食を34年2学期からの実施に向けて、PFI手法で準備を進めます。

子ども自主活動支援事業の創設 6万円
次世代を担う人材育成のため、子どもたちが企画する、魅力的なまちづくりの提案とその実現に向けた活動に対して、ふるさとづくり寄附金を活用して助成します(31年度は準備経費を計上)。

児童生徒の英語力向上 1668万円
小・中学校の外国語授業に配置する外国人の指導助手(ALT)を増員します。

児童生徒の学習支援 152万円
小・中・特別支援学校にタブレットPCを試験的に導入し、学習内容の定着や意欲の向上、情報活用能力の育成など、学力面や学習指導上の効果を検証します。

部活動運営の充実 362万円
部活動の充実と、教員の勤

務時間適正化のため、部活動指導員を配置します。また、効果的な実技指導と部活動顧問の指導力向上のため、専門コーチから遠隔指導を受けるICT部活動支援を導入します。

幼児教育の無償化 3億9220万円
3〜5歳児と市民税非課税世帯の0〜2歳児の幼児教育を無償化します。

子どもの居場所づくり支援 9万円
NPO法人などが公民館で実施する、こども食堂など子どもの居場所づくりを支援します。

民間留守家庭児童育成クラブへの支援 3487万円
待機児童の解消に向けて、東谷・牧の台小学校区での民間事業者による留守家庭児童育成クラブの新規開所と運営を支援します。また障がい児の受け入れを促進するため、クラブへの補助金を拡充します。

民間保育施設の整備 4億9119万円
待機児童の解消に向けて、32年4月に開設する3カ所の民間保育施設整備に必要な経



費の一部を補助します。

市立認定こども園の整備 5億2212万円
市立の幼稚園と保育所の老朽・耐震化対策、児童の教育・保育環境を充実させるため、「(仮称)川西こども園」の整備工事と、川西北幼稚園と川西北保育所を一体化した「(仮称)川西北こども園」の基本設計を行います。

地域子育て支援拠点の充実 28万円
地域の身近な場所で子育ての相談などができるように、地域子育て支援拠点が未整備の明峰中学校区に出張プレイルームを開設します。

川西モデル構築のための

5つの視点

主な事業を「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」「行政経営改革大綱」の5つに分類して紹介します(4・5ページ掲載事業を除く)

問い合わせ 政策調整課 ☎ (740) 1120 財政課 ☎ (740) 1130

暮らし

住む・にぎわう

花屋敷団地建替事業の推進 6億 1,801万円

A棟入居者の仮移転と解体工事を実施。また、新棟の建築工事に着手します。

清流台、大和東、笹部の道路環境の整備 2,108万円

清流台地内の緊急避難通路、大和東地内と豊能町光風台地内をつなぐ通路、笹部地内の生活道路を整備します。

換地処分業務 3,851万円

キセラ川西の土地区画整理事業の完了をめざし、同地区の土地の権利関係を確定する換地処分に向けた業務を進めます。

都市計画道路豊川橋山手線の整備 6億 6,418万円

美園町と絹延町地内の都市計画道路豊川橋山手線の道路・踏切拡幅のため、調査や用地取得などを行い、引き続き工事を進めます。

市道の道路改良工事 1億 1,770万円

久代地内の市道81号や中央町地内の市道3号、日高町地内の市道1313号、見野地内の市道12号、石道地内の市道284号外の道路拡幅のため、測量や調査、設計、整備工事などを実施します。

都市計画道路見野線の整備 1,403万円

見野地内の都市計画道路見野線を拡幅するため、測量や調査を行います。

新名神高速道路高架下の公園整備 4,500万円

西畦野地内の新名神高速道路の高架下に公園を整備します。

第3期中心市街地活性化基本計画の策定 546万円

阪急・能勢電鉄川西能勢口駅周辺とキセラ川西の回遊性を向上させるなど、中心市街地の都市機能や経済活力の増進のため「第3期中心市街地活性化基本計画」を策定します。

プレミアム付商品券の発行 8億 6,400万円

消費税増税の影響を緩和し、消費を喚起・下支えるため、低所得者と子育て世帯にプレミアム付商品券を発行します。

加茂井堰の増水時応急対応 2,210万円

出在家町地内にある農業用水を確保するため、増水時などの応急対応を行います。

(仮称)東谷多目的広場の整備 5,815万円

山原地内で、地域交流の活性化に役立てる多目的広場を整備するため、測量や設計などを進めます。

安全安心

安らぐ・備える・守る

市立川西病院への指定管理者制度の導入と市民モニター制度の創設 2億 4,468万円

市立川西病院に指定管理者制度を4月から導入します。また、市民から信頼される病院をつくるため、専門家による経営評価委員会を設置するとともに、市民によるモニター制度を創設します。

(仮称)市立総合医療センターキセラ川西センターの基本設計 1億 7,000万円

将来にわたり、市民に安心で安全な医療を提供するため、新病院となるキセラ川西センターの基本設計を行います。また、現市立川西病院の跡地の活用について、地域との協議を進めます。

(仮称)市立総合医療センターキセラ川西センターの整備(債務負担行為) 185億 5,000万円

31年度から34年度にかけてキセラ川西センターを整備します。

土砂災害特別警戒区域の補助事業 100万円

土砂災害特別警戒区域の住居に対し、改造・対策工事や移転などに対する助成制度を創設します。

消防車両の更新 2億 6,371万円

救助工作車など、古くなった消防車両を更新します。

地域包括支援センターへのケアプランナー配置 980万円

より効果的なケアマネジメントの実現のため、ケアプランナーを配置します。

生きがい

育つ・学ぶ

第2期子ども・子育て計画の策定 368万円

子育て支援施策を総合的・計画的に推進するため、「第2期子ども・子育て計画」を策定します。

学校運営協議会の設置 16万円

学校と住民などが協議体制の構築をモデル校で実施。学校現場の課題解決や教育環境の充実などの検討を進めます。

乳児保育に係る午睡の安全対策 226万円

乳児の睡眠中の事故を防止するため、市立保育所と認定こ

ども園に在園している0歳児を対象に、アラート機能などを備えたICT機器を導入します。

(仮称)PTAあり方検討会の設置 68万円

保護者の負担軽減と教育環境の充実のため、「(仮称)PTAあり方検討会」を設置します。

郷土館の改修に向けた調査設計 5,300万円

建物の文化的価値と地域の魅力向上のため、国登録有形文化財の旧平安邸の改修に向けた調査設計を行います。

つながり

尊ぶ・関わる

人権行政推進プランの策定 47万円

人権問題を市民一人一人の課題として捉え、人権文化豊かなまちづくりを進めるため、「人権行政推進プラン」を策定します。

人権と平和を考える市民の集いの開催 128万円

「非核平和都市宣言」30周年を迎えるに当たり、平和の大切さについて考え人権の尊重を学ぶ場として、「人権と平和を考える市民のつどい」を開催します。

行政経営改革大綱

挑む

財政の健全化 101万円

31年度から3年間を財政健全化の集中期間とし、全ての事業を再検証します。また、31年度中に「事業への終期の設定」などをルール化するため、財政健全化条例を制定します。

タウンミーティングの実施 41万円

市民の意見をより市政に反映するため、市長と市民が直接対話する「テーマ型タウンミーティング」を実施します。

第2次地方創生総合戦略の策定 560万円

市の特性を生かした活力あるまちづくりのため、市民との

対話を重ねながら、時代を見据えた施策を計画的に展開する、「第2次地方創生総合戦略」を策定します。

(仮称)ふるさと支援金の創設 100万円

コミュニティ組織の活動を活性化するため、ふるさとづくり寄附金を活用し、「(仮称)ふるさと支援金」を創設します。

若者の声を市政に反映 227万円

参画と協働のまちづくり推進会議で、新しい発想と自由、活発な議論を進めるため、公募委員に40歳未満の若者枠を設けます。

行財政改革の取り組み

31年度から3年間を財政健全化の集中期間として、行財政改革の取り組みを始めます。31年度はかわにし新時代の礎を築く1年として、次の6つの項目を重点的に取り組みます(一部は上記の行政経営改革大綱における財政の健全化と同じ)。

■重点項目

- ・全事業の再検証(31年度から3年間)
- ・財政健全化条例の制定
- ・民間企業、法人などとの連携
- ・猪名川町との包括連携
- ・職員の人事評価結果の給与への反映
- ・行政の組織力向上に向けた新マネジメントシステム

■その他の取り組み項目と効果見込み額

- ・市立川西病院の改革(1億1,839万円)
- ・事務の効率化、協議会の加盟や書籍の定期購読の見直しなど(3,510万円)
- ・文書や印刷などの見直し(100万円)
- ・適正な給与体系への段階的な整理(4,900万円)
- ・広告入りデジタルサイネージの設置などによる歳入の確保(91万円)
- ・市役所駐車場の民営化(350万円)
- ・時代に対応した組織体制の見直し(6,885万円)

問い合わせ 政策調整課 ☎ (740) 1120